

平成 26 年度 第 2 回 河内長野市文化振興計画推進委員会 議事録

【日時】平成 26 年 8 月 25 日午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分

【場所】市役所 501 会議室

【出席者】

<河内長野市文化振興計画推進委員会委員>

末延 國康・浅尾 広良・荒川 透・今村 尚美・来村 多加史・栗本 智代・中道 厚子・  
中脇 健児・寶楽 陸寛・水落 学・安福 迪子

<事務局>

(河内長野市教育委員会事務局文化・スポーツ振興課)

森井・上田・東畑・西尾

(ランドブレイン株式会社)

西村・三浦

【配布資料】

- ・平成 26 年度 第 2 回 河内長野市文化振興計画推進委員会 次第
- ・資料 1 平成 26 年度 第 1 回河内長野市文化振興計画推進委員会議事録
- ・資料 2 市民アンケート案
- ・資料 3-1 文化事業評価軸
- ・資料 3-2 文化事業の評価軸に係る市立文化会館「ラブリーホール」基礎資料
- ・資料 4 平成 25 年度公益財団法人河内長野市文化振興財団の事業並びに決算の報告について
- ・資料 5 河内長野市文化振興計画策定スケジュール
- ・資料 6 河内長野市文化振興計画策定方針（案）

以上

(委員長挨拶)

末延委員長

本日より振興計画策定に係るコンサルタントも合流しています。よろしく申し上げます。時間があまりないですが、皆さん審議をよろしくお願い致します。

東畑主査

平成 18 年度に策定している現計画に基づいて本市の文化振興計画策定を進めています。平成 27 年度をもって計画が終了します。

平成 28 年度以降の新しい文化振興を総合的、計画的に進めるために、第二期文化振興計画を、平成 27 年度中に策定する必要があります。平成 26 年度は、第二期文化振興計画策定に向けて資料作成、調査、市民アンケートの実施、分析を行う予定です。その実施のために、専門的知識を活かした魅力ある計画の提案が必要であることから、公募型プロポーザルにより、最優秀提案者として株式会社ランドブレイン大阪事務所と一緒にを行います。新たに市民アンケートの内容検討と文化事業の評価軸について審議したいと思っていますが、まずアンケートから審議いただきたいと思います。

アンケートの説明と、今後の進め方についてランドブレインより説明を行います。よろしく申し上げます。

(アンケートの内容の説明)

末延委員長

まずは、ランドブレインの紹介から会議を始めましょう。

東畑主査

ランドブレイン株式会社の西村氏と三浦氏です。今後、資料作成を本市と協力し、行っていきます。

ランドブレイン西村

市民アンケート調査の位置づけについて説明から入る。策定スケジュールの説明から行う。平成 26 年度に行うべき調査のスケジュールを組んでいる。基礎調査と、現計画の総括をまず行う。今後の検討を話し合い、10 月にはアンケートの議論を終え、アンケートの修正分析を年内に行う予定。年内に結果を出し、市民ニーズや課題を踏まえ、次の方針を考える基礎資料と考えている。委員会との兼ね合い。文化振興計画策定の方針説明。仮説を持った上で、アンケート調査を行う必要がある。

全体のスケジュールを考え資料 6 の概要を説明。文化振興計画策定時に、仮説が必要となる。そのために仮に提案として設計している。1～3 ページに大まかに、文化振興施策についての仮説。4 ページ、具体的な調査方法について。5 ページ、6 つの提案、現状計画の評価と今の生活について、回答者の属性という設定。

また、(資料 2) アンケート調査票について詳細説明。表紙を別に 8 ページ、質問そのものを 7 ページ。A3 二つ折りで見開き 2 枚。

<市民アンケートについて設計の意図と仕立てについて説明>

(アンケートについて)

末延委員長

7枚が枚数的には限度ではないか。これ以上多くなると煩雑になる。5枚がベストではないか。

浅尾委員

アンケート設問3の問12と問13が重複しているので、どちらかが間違いではないか？設問1の問3において、認知度や参加度、その後満足度、前段の認知度が無い人にそれを聞いてもちゃんとした内容が返ってくるのか。知ったことを聞いた上で、満足度を聞かないといけないのでは？問3の4の創造の場所をつくるなど、もう少し記述や具体例が必要な項目があるのではないか。たとえば、⑧のように評判を語り合おうについて聞かれても、具体例が無いと答えに困る。

ランドブレイン西村

補足を行います。問3④⑦⑧欄グレーの網掛け部分は、現行計画に於いても現状取組が行われていないため、具体例を上げられない。アンケートに入れるかどうか検討の余地がある。認知度も行われていないから入れられない。

末延委員長

河内長野市の現行計画の実施状況に未実施と表記がある。

ランドブレイン西村

認知度を入れるとしても、行われていないので具体例が上げられない。

栗本委員

無作為抽出で3000名とある。御礼など無く回答いただくのか？ならば、回収率が下がるのではないか。文化振興に興味のある方に偏ってアンケート結果が返ってくるという可能性はある。文化に興味がない人にも回答していただく工夫が必要なのではないか。

安福委員

一度回答してみたが、言葉が難しい。創造の場、コミュニケーションツールなど言葉が分からない。答えにくい箇所があると高齢の方などはやめてしまうのではないか。

末延委員長

言葉、文言の使い方。ツールという言葉一つとっても、難しい側面がある。

荒川委員

人口按分という方法が本当に良いのか。高齢化した地域には高齢者が多く答えることになる。正しく市民の声が反映されるのか？

ランドブレイン西村

調査方針による。市の意見の縮図を作るのであれば、按分である。若い方の意見を取り入れる前提で実施するのであれば、若い方へ聞くこともできるので、まんべんなく設計することもあり得るのではと思う。若い世代を重点的にアンケートを取り調査することも個人的にはいいと思う。

**水落委員**

年齢の段階設定について、80歳代を設定してもいいのではないかと？

**荒川委員**

問9の中身、問5ではなく問8に訂正。問1について、できるだけ〇をつけてもらう形の方が項目が少なくなっているのではないかと。面倒さは減ると思う。現状では多く感じる。

**来村委員**

事務局へ2点確認します。今回のアンケートはこれまでの議論を踏まえて設計しているか？文化振興評価軸は別？アンケートから必要な要素をピックアップすればいいのか？審議会とこちらで作っている物との整合性がとれていないと感じる。本審議会では、次期計画の策定よりもラブリーホールの事業の評価と認識している。市民アンケートと、審議会の議論は別になるのか？

**東畑主査**

アンケートは次期文化振興計画の基礎資料という位置づけで行います。一方、ラブリーホールの事業評価軸は次期文化振興に活かしたいと思っています。ラブリーホールの評価軸としてあり、別です。何らかの形で次期文化振興計画の中でもラブリーホールの評価についてはマッチするものになると思います。

**来村委員**

次期文化振興計画の大きなまとめは、市が行うのか？

**東畑主査**

本審議会は、次期計画の策定も依頼内容です。そのための基礎資料としての市民アンケートである。また、現行計画のふりかえりを行い、文化振興計画を策定します。

**中脇委員**

文化行政もあり、生涯学習見本市、市民体育祭も範囲になるかどうか含めて、市民がどこまで文化行政を知っているのか、知りたい。今後の文化行政は、暮らしの中の循環型の文化のあり方も反映されている。

**宝楽委員**

アンケート内容に、前回の話し合いは反映されていると思う。福祉の分野等話し合いに出ていた。今後10年の視点でアンケート項目も入っており評価できる。

**来村委員**

市民アンケートの実施と、本委員会での評価軸についての議論とは別に依頼したが、きちんと評価されているのでは、ということですか？今日はどこまで進められるのか？

**末延委員長**

プロの立場でアンケート作成に入らせていただいている。会議の中で意見を共有していきたい。アンケート調査実施の主体が審議会になるという点を認識して頂きたい。

**末延委員長**

若者について、文化と問われるよりも「祭」に興味があるのではないかと？伝統文化、祭事など元々地元にあるものについての項目がない。若者の祭への関心が高いのではないかと。

一方でだんじりの引き手が少なくなっているという問題もある。また、新しく地域に関わる人が、市の関わっているフェスについても認知はあるのではないか。

**中脇委員**

若者だけではなくアンケートの位置づけは、ニュートラルで今の市民の意見を単純に抽出したもので良いのではないか？真意が分からない回答が出た場合、人口分布に則っていたほうが、分析につながるのではないか？方向性として、ニュートラルであるべきではないか。本委員会で方向性について議論が必要。

**来村委員**

市民アンケートと文化評価軸との整合性はあるのか？

**宝楽委員**

評価軸の延長線上に、このアンケートもあるのではないか？アンケートの実施は計画策定に必要なので、取れば良いと思う。

**来村委員**

評価軸を数値化するところに時間がかかると思う。議論しなくていいのか？

**宝楽委員**

今回作成した評価軸を、この議論で置いておき、現場職員に自己分析として利用していただいてもいいのではないか？

**来村委員**

今まで行った議論について、評価軸を考えないと進めないのではないか？

**末延委員長**

評価軸については、第二部で議論する。

**東畑主査**

市民アンケートについて、残り時間でご意見を伺えればと思います。

**中道委員**

枚数が多い。回収率は大事と考える。回収率を上げるには、A3一枚二つ折りくらいが良いのではないか？負担を減らして回収率を上げるようにしてほしい。500円を回答者に返すとなると、他の市民へ説明責任が果たせない。

問14で学校教育が二つ出ている。誤字脱字などないように、完成度を上げて次回は提出してほしい。文化の定義、祭や芸術などと、生活文化は違うので、どこまでの範囲であるのかを明確にせずに作成するのは難しいのではないのか？

**末延委員長**

中道委員からの指摘について、大学名等が出ているのは、協定などを結んでいるから表記しているのか？そうでなければ「教育関係機関」や「大学関係機関」などにしていく方がいいのではないか？

**東畑主査**

協定を結んでいるからではないです。

**来村委員**

市民は市がどの大学と連携しているなど知らないなので省いたほうがいい。

今村委員

項目がすごく多い。丁寧に回答頂けるのは60～70代だと思うので、もっと見やすく答えやすくすることはできないのか？枚数が多いことと言葉の表現が難しい。設問についても、知らないとそれ以上回答が進まないこともある。表記の工夫が必要ではないか。

末延委員長

問1でキックス（市民交流センター）、キックス（図書館）とあるが、キックスという一つの施設を聞いてはいけないのか。また、市内8つの公民館があるが、一つでも利用したことになるのか？

東畑主査

それぞれを別個に聞きたいと思っています。

来村委員

他の名称が固有名詞であるのに公民館が一般名詞となっているので、誤解が生じる。一般名詞になると、公民館という言葉を知っているかという問いになる。この場合は、市民交流センター（キックス内）という表現が正しいのではないか？

宝楽委員

事務局に確認だが、10年前は施設名称はどうなっていたのか？今回の聞きたいことを、どう入れ込むかも大切だが、10年前のものの踏襲も必要。比較する時に難しくなる。

東畑主査

10年前も同様の施設名称で聞いている。表現は河内長野市立文化施設という範囲が狭くなってしまうため、河内長野市内にある文化施設とした。

ランドブレイン西村

10年前を踏襲して作成している。今回、取り方を変えて進める方法もありうる。今回は、10年前と比較するということが必要ではと思っている。

中脇委員

問3が分かりにくい、ズレもある。前回との比較が必要で無ければ、ページ数を減らすために削除してもいいのではないか。この設問は聞きにくい。

末延委員長

問3は削除の方向で行きますか？

来村委員

項目が荒い。回答する側もどれに対して答えるのか分からないのではないか？問1の内容とかぶるものがある。

浅尾委員

例えば、(1)文化に参加するの②文化に出会うの例示が、まちかどアートの作成と、学校へのアーティスト派遣等が混在している。比較内容が全く違う。今後10年の計画策定のアンケートなのだから、今まで聞いてきた内容を削除してしまうのはどうかと思う。

宝楽委員

問3の目的は、河内長野で実施している文化事業の満足度を聞くことなので、「文化事業に対して満足しているのか」で、はい・いいえで答えてもらう形でいいのではないかと。

**来村委員**

満足度の前に、認知があるかどうかを問わないといけない。問2の中では、①～⑤はラブリホールはの事業か？

**東畑主査**

ラブリホールはの事業です。

**浅尾委員**

本アンケートは、10年間の文化施策を評価することが目的だと思ふ。

**栗本委員**

ならば、10年間の動きに関わった人に、時間とお金を使った分、時間をかけた精査が必要。問3の分量のアンケートでは有効ではない。

**浅尾委員**

認知を聞くという意味では現状でいいと思ふ。一方で市としては認知を問うているのでは？

**宝楽委員**

それぞれの施設の満足度は施設ごとに調査しているのか？

**東畑主査**

存在しているものもあります。

**宝楽委員**

今後の審議会の中で、個別満足度の結果を受けて、精査すべきでは。文化行政の立場として、政策を組む上で創造の場をつくるなど聞きたいと思ふ気持ちは分かる。

**安福委員**

分からない内容が出てきた時点で、回答は見送られる。

**荒川委員**

(1) ②文化に出会う機会について満足、不満足となっているが、河内長野市として文化に出会う機会について作っていると思ふますか？という聞き方が回答しやすいのではないかと？

**末延委員長**

創造の場所が必要ですか、必要でないですか？と言い換えるということですね。

**中脇委員**

文化施設を活用すること、文化活動に参加したか、文化イベントへの実行委員会へ参加していますか、など行動から聞いてみてはどうか？市民の目線で、翻訳し聞く方が良い。

**水落委員**

1回のアンケートだけでなく、掘り下げるのであれば、今後の調査にご協力いただけますかと確認してはどうか？後追いで調査した方がよい。他の設問と同じレベルで聞くには難しすぎる。

来村委員

聞き取り調査の方が良いのではないかな。

末延委員長

問3は、一旦事務局預かりでいかがでしょうか？

安福委員

満足度の評価軸について、満足、やや不満足などそこに時間をかけると疲れるのではないかな？

宝楽委員

満足度が測れる設問を形を変えてでも入れるべきではないかな。

中道委員

(1)(2)(3)という大きい項目について、市民の行動の状況が把握できるように変える。例えば文化活動に参加しましたか？YESorNOで答える形に変えてみてはどうか。5項目です。

末延委員長

大設問2の問4、文化的な環境について以降はいかがですか？

水落委員

満足度について、「普通」という選択肢よりも「どちらでもない」という選択肢の方がいいのではないかな。

宝楽委員

河内長野市の文化振興計画においては、河内長野市の文化環境が普通という回答が多いことも大事ではないかな？

中協委員

文化のアンケートは答えにくい。文化施設でアンケートを扱う人として、問4～問7の質問については現状の形態が一般的だと考える。問8,9,10はコンサートや演劇等を文化芸術として扱くと、典型的な稽古事との区別が聞き方が一緒だと難しい。

荒川委員

定期的に参加する文化活動において、定期的に映画を見るのが、問7か問8のどちらかが分からない。定期的の意味に対して判断が分かれる。本来ここで問いたいことは、稽古事や教室型と捉えたとすると。

中協委員

設問は必要だが、問い方が大事。

末延委員長

定期的をどう判断するか？

中道委員

問7は観る、問8はするという表現にした方がいいのではないかな？簡単に言い換えていく。

中協委員

わからないということも、実際に感想としてあると思う。

栗本委員

問 6 の聞き方が、選択肢が一般的で、どう活用するかが見えない。「イメージを感じますか？」という文言について、「河内長野における文化」などの表現にすべきでは？

今村委員

「イメージを感じますか？」というより、「文化と聞いて何を連想しますか」ではどうか。

末延委員長

「イメージを感じますか？」は、具体的に検討します。

来村委員

具体的に、河内長野で連想することという言い方でいいのではないかと問 6 は無くても良いのか？

末延委員長

文言は検討する。

来村委員

「河内長野市で必要なことは何か？」でいいのではないかと？

荒川委員

教育環境の充実やスポーツ活動は文化なのか？

今村委員

課が文化・スポーツ振興課なので、入れるのは仕方がないのではないかと？

末延委員長

どこまで聞くかが重要。

来村委員

問 7 で急に絞込すぎている。今後必要なものは何ですか？でもいい。

中脇委員

問 6 は問 12 以降の質問に繋がっていくのではないかと？問 6 を消してもいいのでは？

問 12、問 14 は今後の議論で、重要だと思うのでは是非聞きたい。大設問 3 と 4 は一緒でもいいのではないかと？

宝楽委員

問 12、問 6 は似ているので、問 6 は無くてもいい。問 14 の項目は何か分類が行政の方であるのか？

東畑主査

検討します。

末延委員長

大設問 5、あなた自身についてはどうですか？

中脇委員

行政の人口年齢階層は 5 歳区切りで、75 歳まで。

来村委員

80歳代でいいのではないかと？70歳は青年扱い。70歳と80歳代は大きく違う。

今村委員

問18で一人親家庭の場合、どれを選べばいいのか？区別は付けられるのか。

中脇委員

現状で漏れることはないのではないかと？

末延委員長

問18は本当に必要な項目か？

宝楽委員

文化施策における貧困の格差を、行政課題として捉えるなら必要な項目だと思う。

今村委員

家族構成を聞くだけでも補完できるが、何を知りたいかで変わる。

水落委員

問18というフィルターが必要かどうかの方が大切ではないかと？

来村委員

差し支えない範囲でという文言入れた方が良いでしょう。

中脇委員

一度削る方向でいいのではないかと？

末延委員長

大設問5は他にないかと？

荒川委員

問20において1つだけとなっているが、兼業している場合は選ばないのではないかと？

中道委員

河内長野では兼業農家など、兼業の職種の人はいないのか？

末延委員長

当てはまるものを選び、それ以外は「その他回答扱い」。

荒川委員

問22において、「分からない」という選択肢が漢字になっている。

大設問6 河内長野市(の)(や)ではなく、「河内長野市の文化事業についてのご意見」という表現がいいのでは。

来村委員

河内長野市の「文化事業」についてのご意見ということでもいいのでは？

末延委員長

「河内長野市の文化事業についてご意見をお書き下さい」という方向で、次回の審議会で、整理して出てくるということでもいいかと？

(評価軸について)

宝楽委員

理念、福祉など大項目ごとについて、文化評価軸についての説明。ラブリーホールの評価における数値化が難しい。いくつか小項目が重複しており、変化している。

**来村委員**

数値基準は、何かあるのか？

**中協委員**

本委員会で委員同士で意見がまとまるのか難しい。分科会みたいなものが必要になるのではないかと。また、フレームとしては面白いが、公の資料として残すのかはデリケートな問題である。

**宝楽委員**

次期計画における文化指標として組み込むのは難しいかもしれない。

**来村委員**

他市と比較する等、比較対象が無いと分かりにくいのではないかと。

近隣にも文化施設はある。協力してくれるホールに求めることも必要。ある程度は可能ではないかと。また、アンケートを作成する際も、今まで議論してきた評価軸を参考していただき、できる範囲で反映してください。

**中協委員**

市民アンケートでは、評価軸に反映することは「認知」のところだけだと思う。

**末延委員長**

近隣の文化会館と比較するなど、必要ではある。ラブリーホールの指標を、賛同して評価しないかと呼びかけることも必要。

今回のアンケートと評価軸を含めて、次回審議会にて議論を進める。

次回はアンケート票の修正したものを提示。評価軸の審議。

**東畑主査**

日程は未定。メールにて委員へ連絡します。9末～10月初旬。

以上